

## コロンビア月例報告（11月分）

### 外交・内政状況

2016年12月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

#### I 概要

##### 【内政】

- 6日 ラ・グアヒラ県知事選挙
- 10日 ジハ新教育大臣の任命
- 12日 新和平合意（於：キューバ）
- 24日 新和平合意署名式
- 28日 航空機墜落事故
- 30日 新和平合意の国会承認

##### 【外交】

- 10月31日～3日 サントス大統領の英国訪問
- 9日 サントス大統領のトランプ次期米国大統領との電話会談
- 16～18日 サントス大統領の訪米
- 19日 サントス大統領のペルー訪問
- 29日 オルギン外相のキューバ訪問
- 30日 ブラジル外相の当国訪問

#### II 本文

##### 【内政】

##### 1 大統領支持率

3日発表されたギャラップ社による世論調査では、サントス大統領の支持率は34%となり、8月の調査時の29%から上昇した。

##### 2 ラ・グアヒラ県知事選挙

6日、ラ・グアヒラ県において、やり直しの県知事選挙によりウィルメル・ゴンサレス候補が新知事に選出された。同候補は、国民統一党及び保守党から支援を受けていた。

##### 3 ジハ新教育大臣の任命

10日、サントス大統領はジハ科学技術イノベーション庁長官を教育大臣に任命した。

同新大臣は、2年前より科学技術イノベーション庁長官を務めていた。

#### 4 航空機墜落事故

28日深夜、アンティオキア県ラ・ウニオン市の山中に、ボリビアのサンタ・クルス・ビルビル国際空港発のチャーター機が墜落した。

同チャーター機はアンティオキア県メデジン市のホセ・マリア・コルドバ国際空港に着陸予定であったが、同機パイロットより緊急着陸のための滑走路の確保の要請がなされた後、墜落した。

同機には72人の乗客と9人の乗員の計81人が搭乗していたが、6人の生存が確認された。同機には、ブラジルのプロサッカー1部リーグの「シャペコエンセ」の選手、コーチ、チーム関係者や報道関係者が搭乗していた。

#### 5 和平プロセス関連

##### (1) 新和平合意

12日、キューバにおいてコロンビア政府及びFARCは、新たな和平合意に合意したことを発表した。これを受けて、サントス大統領は20時頃よりテレビ演説を行った。

サントス大統領は、演説において、国民投票結果を認め、団結と和解のための大規模対話を開始し、57点の課題に集約してFARCと協議し、56点につき修正・変更を達成した旨及びゲリラの指導者達が、重罪を犯していたとしても、政治参加する権利を有することについては修正できなかった旨述べた。

##### (2) 新和平合意署名式

24日、ボゴタ市内コロソ劇場において、新和平合意署名式が実施され、サントス大統領とロンドーニョFARC最高司令官が新和平合意に署名した。

##### (3) 新和平合意の国会承認

29日、新和平合意が上院において承認された。採決において、75票が賛成、反対票なしであった。ウリベ派の民主中道党は、採決の際、議場から退出した。

30日夜、新和平合意が下院においても承認され、国会による承認が完了した。採決において130票が賛成、反対票0であった。ウリベ派の民主中道党は採決の際、議場から退出した。

#### 【外交】

##### 1 サントス大統領の英国訪問

(1) 10月31日～3日、サントス大統領は国賓として英国を訪問した。大統領夫人のほか、オルギン外相、ビジェガス国防相、ラコトゥール商工観光相、カルデナス財務・公債相、ムリージョ環境・持続可能な開発相、リスカノ国会議長、マルティネス検事総長が同行した。

(2) 1日、サントス大統領はバッキンガム宮殿においてエリザベス2世女王と会談し、議会において演説を行った後、女王主催晩餐会が開催された。

(3) 2日、英国の企業家との会合を実施し、コロンビアのビジネス機会に関するフォーラムに参加した。また、チャールズ皇太子とともに自然史博物館を訪問し、生物多様性及びコロンビアとの科学協力に関する行事が行われた。その後、メイ英国首相と会談した。メイ首相は、農業及び交通に関連する2,500万ドルの投資を通じてコロンビアの紛争被害者を支援する予定であるとともに、6百万ポンドのコロンビアから英国への輸出機会を創設する旨を発表した。また、野党労働党のコービン党首とも会談した。その後、カーン・ロンドン市長主催晩餐会に出席した。

(4) 3日、サントス大統領は北アイルランドを訪問し、フォスター首席大臣等と会談したほか、ベルファスト市北部のコミュニティセンターを訪問し、北アイルランド和平合意署名後の和解の経験につき説明を受けた。

## 2 サントス大統領のトランプ次期米国大統領との電話会談

9日、サントス大統領は、トランプ米国次期大統領と電話会談を行った。サントスはペニャ・ニエト・メキシコ大統領に次いで中南米で2番目にトランプ次期米国大統領と会談した大統領となった。

## 3 サントス大統領の訪米

16～18日、サントス大統領は医療検査のため米国を訪問し、17日、検査を行い、バイデン米国副大統領との晩餐会に出席した。18日、サントス大統領は、OAS常設理事会に出席した。同理事会は、コロンビアの新和平合意を支持する旨の宣言を採択した。

## 4 サントス大統領のペルー訪問

19日、サントス大統領は、ペルーを訪問した。コロンビアはAPEC未加盟であるが、APECに招待され、サントス大統領はAPEC・CEOサミットにおいて演説をしたほか、APEC・太平洋同盟非公式対話に参加した。

ペルーにおいてサントス大統領は、安倍総理大臣と会談し、安倍総理より、サントス大統領のノーベル平和賞受を祝福するとともに、コロンビアにおける新和平合意到達を歓迎した。サントス大統領は、地雷除去に関する日本の支援に謝意を表した。また、両首脳は、日・コロンビアEPA交渉の早期妥結を目指すことを確認した。

また、サントス大統領は、オバマ米国大統領、習近平・中国国家主席及びプーチン・ロシア大統領ともそれぞれ首脳会談を行った。

## 5 オルギン外相のキューバ訪問

29日、オルギン外相は、フィデル・カストロ前国家評議会議長の葬儀に参加した。

## 6 ブラジル外相の当国訪問

30日、メデジンのアナスタシオ・ヒラルド・スタジアムにおいて、航空機墜落事故で死亡したブラジルのシャペコエンセの選手及び関係者の追悼式典が開催され、事故がなければ同チームと対戦する予定であった当国アトレティコ・ナシオナルの選手、チーム関係者、ファン及び一般の観客約4万人の聴衆を集めて開催された。同式典にはオルギン外相及びブラジルのジョゼ・セラ外相が出席した。セラ外相は、この痛ましい事故に際し、サッカーファンを始めコロンビア国民が示してくれた連帯に謝意を表明した。